

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ウ	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成	施策	① 新産業の創出を担う人材の育成
			施策の小項目名	○文化産業人材育成
主な取組	沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成)			
対応する主な課題	③新産業の創出や既存産業の高度化を効率的・持続的に進めるためには、県内資源を適切にコーディネートできる人材や、ビジネス教育などの起業家精神の醸成に取り組む人材の育成が求められる。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
良好な景観創出のための仕組みづくりを目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する。		H29	H30	R元	R2	R3
		300人 講習修了数				
実施主体	県、					
担当部課【連絡先】	工本建築部都市計画・モノレール課		【098-866-2408】			
		景観形成人材育成(地域人材、地域を支援・景観を形成する専門家の育成)				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名		R3年度					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度	OR4年度
一括交付金(ソフト)	委託	23,141	14,664	4,520	38,332	10,241	66,500	一括交付金(ソフト)	OR3年度: 人材育成業務は、活動内容を地域住民の話し合いで決定し、集団で制作・美化活動を行うことから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、中止とし	OR4年度: 人材育成計画に基づき、県内6地区の風景づくりサポーター・地域景観リーダー及び県内市町村の景観行政コーディネーター育成の講習会等を開催する。
予算事業名										
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度	OR4年度
		—	—	—	—	—	—		—	—

活動指標名	R3年度				R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
講習修了数	457人	718人	地元調整	442人	0人	300人	0.0%	10,241 未着手	<p>人材育成業務は、活動内容を地域住民の話し合いで決定し、集団で制作・美化活動を行うことから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、中止とした。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>平成29年度より人材育成の取組を継続的に実施しており、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかったものの、5年間の累計目標値は計画値1,500人に対して実績値1,617人と達成できた。風景づくりに係る人材育成が実施されることにより、良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与する。</p>
活動指標名	R3年度								
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	—	—	—	—			
活動指標名	R3年度								
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	—	—	—	—			
(2) これまでの改善案の反映状況									
令和3年度の取組改善案				反映状況					
<p>・地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村及び実施地区と連携を図りながら各地区で景観形成に向けた活動やワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。</p>				<p>・令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかった。</p>					

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・地域人材育成の円滑な実施にあたっては、地元市町村及び実施地区との連携が必要不可欠である。

○外部環境の変化

・風景・まちなみづくりに対する地域住民の関心を高めるには、長期的な視点から継続的な取組が求められる。

・風景づくりに係る人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制が整備されていない。

・令和3年度は新型コロナウイルスの影響により取組を実施できなかった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・地元市町村及び実施地区と連携の上、地域住民の景観への関心を高めるために長期的な視点から継続した取組が必要である。

・コロナ禍における人材育成の取組方法について検討が必要である。

4 取組の改善案 (Action)

・地域住民の景観への関心を高めるため、地元市町村及び実施地区と連携を図りながら、各地区でコロナ禍でも取組可能な景観形成に向けた活動やワークショップ等を開催し、地域景観協議会設立に向け引き続き取り組んでいく。

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-ウ	新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成	施策	② グローバルビジネス人材の育成
			施策の小項目名	—
主な取組	沖縄建設産業グローバル化推進事業			
対応する主な課題	④少子高齢化等により国内市場がこれまでのような量的拡大を見込めない中、成長著しい中国など東アジア諸国の活力を取り込むため、海外市場への販路開拓及び受注拡大が重要となっているが、県内企業が海外展開するにあたり、海外ビジネスの専門的な知識やノウハウを有した人材が乏しいことから、幅広い分野において国際的に通用する専門的な人材が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
アジア等海外建設市場への参入意欲を擁する数社をモデル企業として、海外工事入札までのプロセスを検証し、沖縄固有の障壁の特定と必要な支援策の検討を行い、県内建設企業の受注機会拡大による建設産業の振興を図る。		H29	H30	R元	R2	R3
		データベース登録者数 101人(累計)				>150人
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課 【098-866-2384】					
		沖縄グローバル建設産業人材データベース構築・運営				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		沖縄建設産業グローバル化推進事業					R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和3年度： モデル企業1企業グループへ補助金の交付、専門家委員会からの助言等の支援を行った。	
一括交付金(ソフト)	補助	10,231	8,916	10,976	10,416	7,546	1,000	県単等	OR4年度： 令和3年度に作成したガイドブックの紹介動画を作成し県内建設関連企業のグローバル化の促進を図る。	

活動指標名	データベース登録者数(累計)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
		118人	122人	129人	129人	129人	150人	86.0%	7,546	概ね順調
活動指標名	—				R3年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R3年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
・海外展開に取り組む企業の増加に向け、「沖縄の地域特性により培われた技術等」をPR出来る動画の情報発信を行う。						・建設記録映像5本の編集(短編化、英語化)を行い、県の公式Youtubeチャンネルへ公開し情報発信を行った。				

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・令和3年度にこれまでの本事業の取組などを踏まえ、海外展開に関するガイドブックを作成した。

○外部環境の変化

・コロナ禍による影響が継続している。
・関係団体において、JICA沖縄と連携した海外展開に関するセミナーを開催するなどの取組があった。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・コロナ禍による影響が収束した後、県内建設関連企業が渡航し海外市場調査等を実施できるよう、これまで得た知見を効果的に情報発信する必要がある。
・令和3年度までの総括を踏まえ、今後の必要な支援策の検討を行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・令和3年度に作成したガイドブックの紹介動画を作成し、関係団体と連携の上、発信する情報のリンク先などの周知を行う。
・令和4年度は、令和5年度以降の必要な支援策の検討及び事業化に向けた取組を行う。